

平成30年度 入札監視委員会議事概要

沖縄防衛局

開催日及び場所	平成31年3月27日（水）於：海上自衛隊那覇航空基地隊
委員	矢吹 哲哉(委員長：琉球大学名誉教授) 堤 純一郎(琉球大学工学部教授) 原田 泰人(公認会計士) 古堅 豊(弁護士) 山城 勝(沖縄県経営者協会常務理事)

I 沖縄防衛局が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成30年10月1日 ～ 平成30年12月31日	
審議対象件数	93件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	3件	(審議概要) ・前回審議事案の追加説明 ・契約状況、指名停止状況、低入札価格調査等について報告 ・工事概要、競争参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について説明
建設一般競争	0件	
建設一般競争(政府調達協定対象外)	1件	
工事指名競争	0件	
工事随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	2件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【再説明】 ○ シュワブ（H30）既設建物解体工事（その1）とシュワブ（H30）既設建物解体工事（その2）の工事内容等の違いについて 【低入札価格調査について】 シュワブ（H30）陸上警備業務の抽出事案に記載 【抽出事案について】 ● 工事 一般競争入札方式 (政府調達協定対象)	○ （その1）は鉄筋コンクリート造4階建（約5,700m ² ）の施設等の解体工事、（その2）は鉄筋コンクリート造4階建（約3,800m ² ）の施設等の解体工事であり、解体する施設の規模が異なっている。

空自那覇(H30)保管庫等新設
土木その他工事

○ 辞退・無効が多い理由は何か。

○ 無効とはなにか。

● 業 務

公募型プロポーザル方式

シュワブ(H30)水域生物等調査

○ この業務の競争参加資格を有しているコンサルは何社いるのか。

この業務ではジュゴン調査を行うことになっているが、別件のシュワブ(H30)ジュゴン監視等業務との違いは何か。

公募型プロポーザル方式

シュワブ(H30)陸域生物等調査

○ 技術提案等評価結果整理表(選定用)とは何か。

技術提案等評価結果整理表(特定用)との違いは何か。

○ 応募業者については、同時期に複数の工事に応募しており、監理技術者が同じ者で応募しているが、工事を実施する際は専任の監理技術者を配置する必要がある。そのため、他の省庁及び自治体の工事を先に落札した場合には、当局の工事を辞退している。

○ 無効については、調査基準価格を下回った場合、施工体制確認等のための追加資料の提出に応じるかどうか確認し、応じない場合については無効としている。その場合は、指名停止等のペナルティはない。

○ この業務の競争参加有資格者は369社である。

シュワブ(H30)水域生物等調査におけるジュゴン調査は、普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価の事後調査として、工事に伴うジュゴンの生息環境に係る経年変化の調査を行うものである。

他方、シュワブ(H30)ジュゴン監視等業務は、工事の実施にあたり、工事区域にジュゴンが近づいて来ていないかの監視、また、近づいたことを確認した際の関係部署への連絡等の業務を行うものである。

○ 技術提案等評価結果整理表(選定用)は、応募した企業の実績及び能力、配置予定管理技術者の経験及び能力等を評価し、応募者の中から上位者を選定する際に用いるものである。

他方、技術提案等評価結果整理表(特定用)は、選定された応募者から提出された技術提案書等について、配置予定管理技術者からのヒヤリングを踏まえて評価を行い、得点順位により最上位者を特定する際に用いる

	○ 優秀業務表彰について説明 願いたい。	ものである。 ○ 本省の大臣官房施設監からの 顕彰、沖縄防衛局長からの感謝 状及び沖縄防衛局調達部長から の顕彰がある。
委員会による意 見の具申又は勧 告の内容	・なし	

2. 談合疑義案件の処理状況について

談 合 疑 義 件 数		0 件	(審議概要) ・特になし
工 事	談 合 情 報	0 件	
	点 検 結 果 疑 義	0 件	
業 務	談 合 情 報	0 件	
	点 検 結 果 疑 義	0 件	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問	回 答	
	・なし		
委員会による意 見の具申又は勧 告の内容	・なし		

3. 入札結果の事後的・分析結果について

審 議 概 要	平成30年度1四半期～3四半期分に関する建設工事及び建設コンサルタント業務等に係る入札方式別の落札率、応札率、1者応札、1者応募及び一位不動等の状況について説明を行った。	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	・なし	
委員会による意	・なし	

見の具申又は勧告の内容					
4. 再苦情処理（再説明請求回答）					
再苦情申立件数 （再説明請求件数）		総件数	0件	（備考）	
建設 工事	一般競争（政府調達協定対象外）		0件		
	指名競争		0件		
	随意契約		0件		
建設コンサルタント業務等※			0件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）		申立日	件名	契約方式	内容等
委員からの意見 ・質問、それに対する回答等		意見・質問		回答	
		・なし			
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし			

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象機関	沖縄防衛局			
審議対象期間	平成30年10月1日～平成30年12月31日			
審議対象件数	1件			
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、落札者決定の経緯等について）				
抽出件数	1件	（審議概要） ・調達の概要、競争参加資格の設定等について説明		
一般競争	1件			
指名競争	0件			
随意契約	0件			
	意見・質問		回答	

<p>○委員からの 意見・質問</p> <p>○それに対する 回答等</p>	<p>一般競争入札方式 シュワブ(H30)陸上警備業務</p> <p>○ 警備業務に関しては、これまでも単価の設定について説明していただいているが、今回、入札額が調査基準価格を下回ったことを踏まえて、改めて積算内容について説明していただきたい。</p>	<p>○ 内訳明細書等を確認の上、次回の委員会で回答させていただきたい。</p>
--	---	--

平成30年度 沖縄防衛局入札監視委員会議事概要（海上自衛隊）

開催日及び場所	平成31年3月27日（水） 那覇航空基地隊大会議室
委員	矢吹 哲哉（委員長：琉球大学名誉教授） 堤 純一郎（琉球大学工学部教授） 山城 勝（（一社）沖縄県経営者協会 常務理事） 原田 泰人（公認会計士） 古堅 豊（弁護士）

I 海上自衛隊が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
審議対象案件	9件

1. 入札状況について（入札参加者の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
	抽出件数	1件
建設工事	一般競争	1件
	随意契約	なし
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ●それに対する回答等	<p>【一般競争】</p> <p>件名：棧橋消火配管補修</p> <p>○審議対象案件説明資料の入札状況等の中で、2回目の入札で2社が辞退を表明とあるが、価格に折り合いがつかないため辞退したということか。</p> <p>○配管に使われる、塗料は海水に対する特殊な塗料なのか又は一般的な塗料なのか。</p> <p>○経年劣化の補修はどういう事をするのか。</p>	<p>●そのとおりである。</p> <p>●配管は亜鉛メッキであるため、塗装は施していない。</p> <p>●劣化が著しい部分の配管を交換した。</p>

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する
審議

審議対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
審議対象案件	904件

1. 入札状況について（入札参加者の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数		5件
地方 調 達 等	一般競争	2件
	指名競争	なし
	随意契約	3件
		意見・質問
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>●それに対する回答等</p>		<p style="text-align: center;">【一般競争】</p> <p>件名：沖縄基地隊具志川送信所の草刈</p> <p>○落札率が低い要因は如何に。</p> <p>○除草や廃棄も含めた事業か。</p> <p>件名：アメリカ合衆国アンダーセン空軍基地近傍等における宿泊、食事、通信、車両及び陸上作業等に関する役務</p> <p>○概算契約とはどういうものか。</p> <p>○具体的な役務というのは旅行代理店のようなものなのか。</p>
		回 答
		<p>●結果的に低落札価格となった認識であり、予定価格は、一般公表された積算基準や労務単価等を用いて積算している。</p> <p>●処理を含んでいる。</p> <p>●外貨建ての契約であり、予定価格算定時は支出官レートを適用、履行後、実績額確認のため、インボイス等を提出させ、実勢レートをもって精算確定している。</p> <p>●そのとおりであり、食事、宿泊、携帯電話、車両レンタル等について、現地代理店に手配する内容の契約である。</p>

意見・質問	回答
<p>【随意契約（公募）】</p> <p>件名：那覇地球局設備の民間委託整備</p> <p>○予定価格の決め方はどうしているのか。</p> <p>○見積順位書とはどういう位置づけのものか。</p> <p>○随意契約になった経緯は如何に。</p> <p>○公募の技術審査に合格した者で価格競争をすることで、この案件は、公募の参加者及び技術審査合格者が1社のため随意契約となったのか。</p> <p>○建設工事でいうところのプロポーザル方式のような技術審査を経ているということか。</p> <p>件名：P-3C用機体洗浄装置の修理</p> <p>○この案件も先ほどと同じ、技術審査の結果、随意契約となったのか。</p> <p>○審議対象案件説明資料の契約概要で、「自動での給排水ができず手動でも使用不能となった場合」とあるが如何に。</p> <p>件名：航空機等に係る整備支援業務に関する委託役務</p> <p>○審議対象案件説明資料の競争参加条件を満たしている業者は何社ぐらいあるのか。</p> <p>○東京の業者でも九州・沖縄地域に登録できるのか。</p>	<p>●標準的な工数（時間）及び官レートにより算出している。</p> <p>●予定価格算定後、入札又は見積書の来歴を記録し、業者選定に至る契約までの証跡を示すものである。</p> <p>●公募公告を実施したところ、応募業者が1社であり、随契となったものである。</p> <p>●そのとおりである。</p> <p>●そのとおりである。建設工事においても、技術審査を経て業者選定しており、1社との随意契約となることはある。</p> <p>●そのとおりである。</p> <p>●手動給排水が機能しなくなると洗浄が不可となり、航空機の運用に多大な支障を来すことから、その予防措置として、機能性能の復旧を図ったものである。</p> <p>●条件の第1項については、沖縄県での登録は多数あるが、第2～4項の審査基準を満たしたのは公募に合格した1社である。</p> <p>●登録できる。</p>

	意見・質問	回答
	<p>○審議対象案件説明資料の契約概要で総人件費改革関連事業とあるが、この事業に対して効果の検証はしているのか。</p> <p>○総人件費改革関連事業は、本省の事業なのか。</p>	<p>●海幕等の所掌する機関において検証されている。</p> <p>●そのとおりである。</p>